令和元年７月１日発行

丸岡ロータリークラブ会報

ＲＩ２６５０地区スローガン

ロータリーを学び、実践し、発信しよう； Enjoy Rotary

インスピレーションになろう

丸岡ロータリークラブ　テーマ　「忘己利他（もうこりた）」

林田　千之 会長挨拶　６月２４日（月）

いよいよもうあと数時間で私の役目も終わります。金年度そして本年度と、２年間持ったなと、そういうふうに思っております。緊張感をもってやってきたのですが、この糸が切れてしまうとフラフラとなってしまうのではと思いますが、そうならないよう留意していこうと思います。後ほど、会長の活動報告をさせていただきますが、一年間ありがとうございました。

さて、グローバル補助金事業について、提出していましたグローバル補助金の完了報告書の審査が無事に通りました。これで、山下年度より３年にわたりおこなったきましたグローバル補助金事業が終了します。関係者の皆様には、ご協力いただきまして誠にありがとうございました。以下、国際ロータリー財団よりのメールです。

「グローバル補助金 GG1750685 の最終報告書をご提出いただき、誠にありがとうございました。報告書はすべての要件を満たすものであったため、本補助金はこれをもって終了となります。今回のグローバル補助金活動を、ロータリー・ショーケースでもぜひご紹介ください。健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにするというロータリー財団の使命を支えるため、それぞれのスキル、時間、資金を投じてくださった多くのロータリアンに心より御礼申し上げます。今後も引き続きのご支援を賜りますようお願いいたします。Cathleen Evans　Regional Grants Officer | Rotary Grants

Dear Rotarians:　Thank you for submitting the final report for Global Grant GG1750685. The report has been reviewed and is complete. The Foundation will now mark the grant closed. Your cooperation in fulfilling this requirement is greatly appreciated.We encourage you to share your successful global grant activities on Rotary Showcase.Many thanks to all the Rotarians who gave their time, funds, and expertise to implement this grant. Your contributions support The Rotary Foundation's mission to advance world understanding, goodwill, and peace through the improvement of health, the support of education, and the alleviation of poverty.　」

報告　西出智一国際奉仕委員長　６月２４日（月）

次年度のタイスタディーについて

参加生徒数９名確定しました。第１回目のオリエンテーションは、保護者同伴のもと、おこないました。第２回目のオリエンテーションは、参加生徒と一緒にプログラムの内容を作成しました。次回は、７月１３日土曜日９時～１２時まで、丸岡高校にて予定しています。ご都合のつく会員さまには参加していただき、是非、生徒への指導アドバイスしていただけたらと思います。

福井県内クラブ例会日・開催場所

無印＝12:30開会　＊＝19:00開会

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
福井東・アオッサ3F Wel Aossa	福井南・繊協ビル8F大ホール	福井北・グランユアーズフクイ	福　井・ユアーズホテルフクイ	福井西・バードグリーンホテル
＊丸岡・城のまちｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ	勝　山・勝山市民活動ｾﾝﾀｰ	敦　賀・福井銀行敦賀支店2F	武生府中・農協会館３Ｆ	三　国・三国観光ホテル
	武　生・武生商工会館	鯖江北・神明苑内	＊福井水仙・福井パレスホテル	鯖　江・鯖江商工会館３Ｆ
	若　狭・ホテルせくみ屋	大　野・大野商工会館1F	＊敦賀西・プラザ萬象	福井あじさい・リバージュアケボノ
	福井ﾌｪﾆｯｸｽ・ｸﾞﾗﾝﾕｱｰｽﾞﾌｸｲ			

Let's Go Makeup !

クラブフォーラム　今年度活動報告会②　　６月２４日（月）

竹澤ロータリー基金委員長　　ロータリー財団　年間一人当たり 180＄　米山記念奨学会　年間一人当たり　24,000 円を目標に寄付を募った。ロータリー財団への寄付の意義や仕組みについて例会の場で説明したが、あくまでも任意である以上、それぞれの会員に委ねるしかなく思ったように集まらなかった。

【年間寄付額　クラブ全体】ロータリー財団について　①年次寄付　年間 504,200 円（4,535.09＄）年度当初 32 人　一人当たり　141.72＄　②ポリオプラス 46,000 円（ 464.30＄）　⇒毎週の寄付金のうち前期後期時 1,000 円を送金　③ベネファクター（恒久寄付）1,000＄　松井寛会員　④マルチプルポールハリスフェローPIN＋1　杉本政昭会員　米山記念奨学会について　①普通寄付　年 2 回　一人当たり 2,000 円（会費より　分担金名目）　②特別寄付　年間 450,000 円　③米山功労者　第 1 回目　三寺、松井、竹澤会員　第 2 回目　倉田会員

林田会長　　・2017-18 年度の幹事　2018-19 年度の会長として思いもかけぬご指名を受け、私のようなものが出来るかと思いつつ、クラブの事情を鑑み、已む無くお引き受けし、緊張感をもった２年間でした。お陰様で会員皆様のご支援で９割方クラブの運営ができたと思っています。私自身は、自分のロータリー観を築き、その信念を実行に移して、ロータリアンとしての真価を発揮すべく実行してまいりました。また、論語に「子曰く、学びて思わざれば則ち罔し（くらし）、思いて学ばざれば則ち殆し（あやうし）。」とあります。ここで「学ぶ」とは「理念」を身につけることであり、「思う」とは、これを実践に移すと理解して、ロータリーの基と心がけました。

・松井幹事は、クラブの柱として、内外情報をプールしクラブの執行を適時適切に行い、私にとって最高の幹事でした。

・創立４０周年では会員一丸となって、パストガバナーはじめ各ロータリーの会長幹事様を迎え盛大に開催されたことは、大変ありがとうございました。周年行事は過去を振り返り新しく迎えるロータリーへの礎になると心得ます。今後ますます会員が増強され、他クラブの規範となるよう祈念いたします。

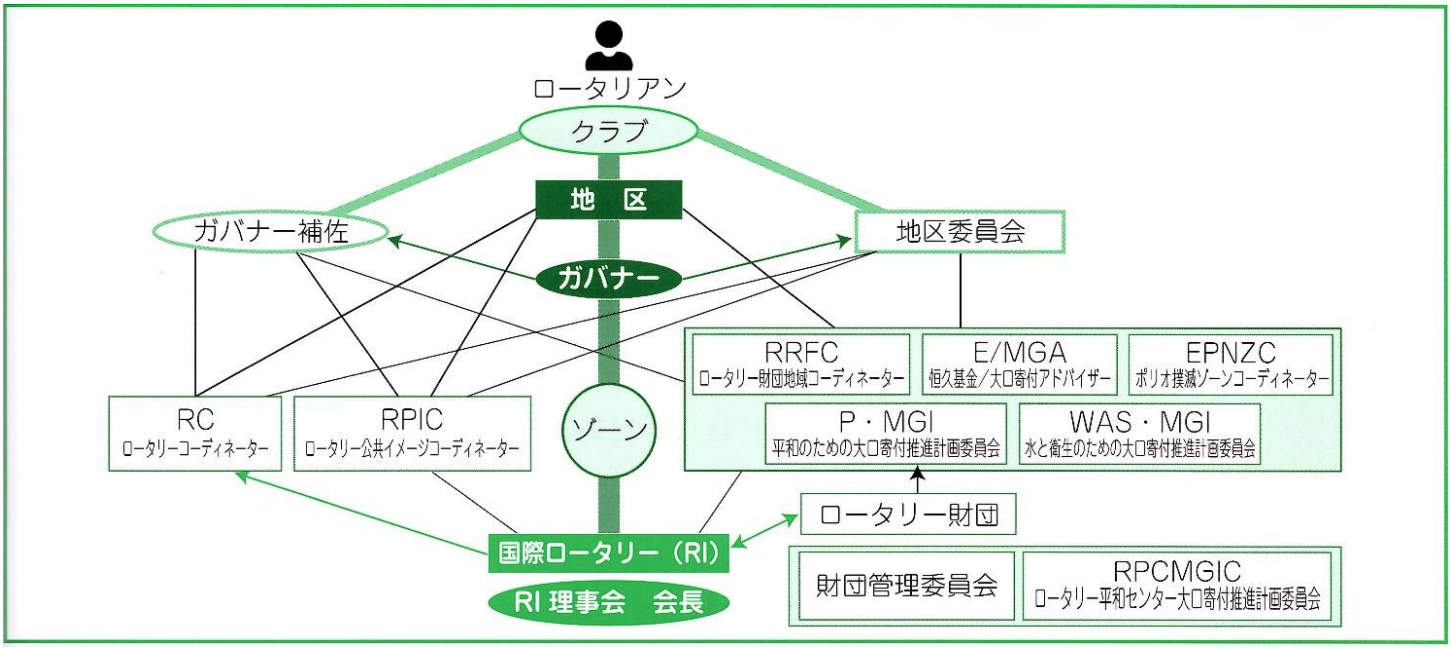
・各理事におかれましては、受け持ち分野の委員会活動への適切な指示、ご提案をいただき、スムーズな委員会活動を促していただきました。

・クラブにとってなにより喜ぶべきことは、会長エレクト、会員増強退会防止理事をはじめ会員一丸となって会員増強に力を入れた結果、６名の多士済々の新会員を迎えたことは、本年度最高の出来事ではなかったかと思います。我がクラブの自慢の一つとなりました。

・先日の理事のご報告にありましたが、クラブ管理委員会の各委員長はじめ委員の皆様には恙無く運営をしていただき例会を無事に過ごすことができました。誠にありがとうございました。

・クラブ奉仕プロジェクト委員会の皆さんには、理事からのご報告の通りで、各分野の成果を上げ大変ご苦労様でした。ただ、一点だけ是非皆さんの心に留めていただきたいことがあります。それは、私自身、社会奉仕委員会から提案があったことにより、「いじめ」について深く考察する機会をいただきました。今日本の社会は、「引きこもり」「不登校」「家庭内暴力」そして「いじめ」と一筋縄ではいかない大きな問題を抱えています。私自身、関係筋、アドバイザー、現場の方々のお話を伺ってきましたが、やはり奥深い問題で私などの手に負えるものではないと思いました。次年度も継続事業とお聞きしましたが、どうか論語で「意なく、必なく、固なく、我なし」とあるように、自分の意見が通らないからと自分に閉じこもらずにお願い致します。

・終わりに、２年にわたり、大変お世話になりました。心より厚くお礼申し上げます。そして、人品卑しからずという言葉がありますが、ロータリアンは人格（人柄、人品）と教養を高め、目が合っただけでお辞儀をされるような人になってほしいと心から念願します。



ロータリーコーディネーター（RC）：

ＲＩ会長によって任命される地域リーダーで、クラブによる会員増強と参加意欲の促進を支えるためのアイデアや戦略を提供する。

ロータリー公共イメージコーディネーター（RPIC）：

ＲＩ会長によって任命される地域リーダーで、広報、ジャーナリズム、コミュニケーション分野の専門知識を生かして、クラブによる公共イメージの取り組みを支援する。

ロータリー財団地域コーディネーター（RRFC）：

補助金の活用と、財団プログラム（ポリオプラスやロータリー平和センターなど）への寄付・支援を奨励する地域リーダー。

恒久基金／大口寄付アドバイザー（E/MGA）：

大口寄付と恒久基金について詳しい情報を提供できる地域リーダー。

ポリオ撲滅ゾーンコーディネーター（EPNZC）：

地元でのポリオ撲滅活動において主なリソースパーソンとなる会員。

松井幹事　会長が掲げた「忘己利他」を基本に、親睦と友愛、「親睦の中から奉仕の理想を生み出す集団」になれるよう補佐し、理事及び会委員のパイプ役となりクラブの運営、行事が滞りなく速やかに行えるよう配慮した。

本年度最大の事業であった４０周年記念行事を盛大に行えるようサポートした。

三国ロータリークラブとの合同ガバナー公式訪問（丸岡ＲＣ担当）では十分な用意を行い、滞りなく終わった、４０周年記行事は会員全員の協力のもと、成功に終わった。退会者が２名いたものの、新会員６名の入会式ができ次年度への弾みとなった。特に入会者の年齢層も３０代～８０代と幅があり、いろいろな事業への対応が期待できる。ガバナー公式訪問が１ヶ月早くなったり、４０周年記念行事があったことでタイムスケジュールがタイトになったりしたことで、奉仕事業すべてをこなすことができなかった。もう少し各理事のメンバーとの話し合いをするべきであった。

報告　瀬野友伸青少年奉仕委員長　　６月２４日（月）

「論語クリアファイル配布事業について」

論語を説明するクリアファイルを作成しました。

林田会長が用意してくれた論語の教育の素晴らしさを伝える新聞紙の切り抜きのコピーと共に、林田会長や西出副委員長と丸岡町内の６つの小学校を周り、校長先生と意見交換をしてきました。校長先生には、６年生全員に配布して、その際、論語による道義や道徳の教育を是非進めて下さいと、お願いしました。

どこの小学校でも大変ありがたがられたと思っております。ある校長先生は次出す時には論語のこの文を載せて欲しいとのリクエストがあるくらいでした。今後論語について何か特別なことをするならぜひロータリークラブにご一報をと言って参りました。手応えのある事業だったと自負しています。

また、今の学校の現場の様子を伺い、いじめについては、「６校ともあります」という返事でした。いじめや友達同士のトラブルは起きていますが、学校としてはアンケート調査をしたり児童の様子に目を光らせたりして、深刻な問題にならないように努めていますとのことでした。不登校児童も、４つの小学校ではいるそうです。１００人いたら１００人の１００個の原因と状況の違いがあるという印象を受けました。

どの小学校でも、現在の先生は非常に事務作業の負担が大きく、大変だなと感じました。校長先生からも、先生方は、子供と向き合うよりもパソコンと向き合う時間が多いこと、その現状を打破できる策がみつからないことなどを聞きました。

改めて、論語事業は、発展させる余地があるので、学校と意見交換しながら、注意深く進めていきたいと思います。いじめや不登校についての問題も、学校で現場の話を聞くといろんなことがまた見えてくるなという印象を受けました。次年度、私は青少年奉仕の副委員長ですので、子供にかかわる事業を続けてやっていきたいなと思っております 。

皆さん、ご協力よろしくお願いします。

委員会報告　　６月２４日（月）

◆寄付金の状況◆ニコニコ箱委員会

ロータリー基金委員会

	今年度計	会費含む累計
ニコニコ箱	737,000 円	1,722,000 円
ロータリー財団	539,000 円	
米山記念奨学会	450,000 円	

◆出席報告◆　　出席委員会

例会日	会員数	出　席	届有欠	届無欠	出席免除者欠席	例会出席率
6/24	３５	２６	５	３	１	76.47%

【メーキャップ】 6/24～6/28　事務局受付分

6/27　福井ＲＣ　金　6/17分

＜修正出席率＞

例会日	会員数	出　席	ﾒｰｷｬｯﾌﾟ	欠席者	出席免除者欠席	修正出席率
6/17	３５	２４	３	６	２	81.81%

丸岡ロータリークラブ

会員数：３５名　**例会場**：丸岡城のまちコミュニティセンター　**例会日**：毎週月曜日 19 時 00 分

事務局：〒910-0251　福井県坂井市丸岡町一本田福所 22-24-3　東角建設(株)　２F

TEL 0776-67-0410 FAX 0776-67－4811　E-mail webmaster@maruoka-rotary.com

公共イメージ委員会 委員長－林田恒正　**会報委員会**　委員長－倉田教信　副委員長－前川　徹

委　員－杉本政昭　瀬野友伸　竹澤俊彦